



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月4日

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド  
 コード番号 5331 URL <http://www.noritake.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小倉 忠  
 (氏名) 中村 吉雅

上場取引所 東名  
 TEL 052-561-7116

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	26,758	24.0	612	272.1	1,024	92.9	830	234.6
27年3月期第1四半期	21,585	8.6	164	—	531	—	248	△46.9

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 3,613百万円 (129.7%) 27年3月期第1四半期 1,573百万円 (△46.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	5.78	—
27年3月期第1四半期	1.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	148,527	84,983	55.2	570.78
27年3月期	145,836	82,817	54.1	549.59

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 81,963百万円 27年3月期 78,924百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	54,000	20.8	900	26.0	1,400	11.7	1,000	46.2	6.96
通期	110,000	11.1	2,800	27.8	3,800	12.1	2,500	21.4	17.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

注) 詳細は、【添付資料】3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	158,428,497 株	27年3月期	158,428,497 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	14,828,487 株	27年3月期	14,821,960 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	143,603,554 株	27年3月期1Q	143,627,345 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】2ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高は267億58百万円（前年同期比24.0%増加）、営業利益は6億12百万円（前年同期比272.1%増加）、経常利益は10億24百万円（前年同期比92.9%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億30百万円（前年同期比234.6%増加）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

#### (工業機材)

国内市場では、主要客先である自動車の生産回復の遅れや、鉄鋼、ベアリングの減産の影響を受け、工作機械が内需に支えられ好調であったものの、売上げは前年並みとなりました。海外市場では、中国においては景気の鈍化が一層鮮明となり低迷しましたが、米国では自動車生産が堅調に推移し、タイ国でも自動車向けが持ち直したことに加え、円安の影響を受け、売上げは増加しました。前期第3四半期より連結対象となった日本レヂボンの事業は、主に東南アジアにおいて堅調に推移し、売上げは増加しました。その結果、工業機材事業の売上高は、142億30百万円（前年同期比52.6%増加）、営業利益は3億31百万円（前年同期比297.8%増加）となりました。

#### (セラミック・マテリアル)

電子ペーストは、MLCC用がスマートフォンやタブレット端末向けに、センサー用が自動車用電子部品向けに増加しましたが、太陽光発電用の落ち込みを補うには至らず、売上げは大きく減少しました。セラミックス製品は、石膏は海外向けが伸長したものの、厚膜回路基板は車載用が振るわず、セラミックコアも顧客の在庫調整を受け低迷したため、売上げは減少しました。蛍光表示管は海外向けが堅調であったため増加しました。共立マテリアルの事業は、電子部材は海外向けが伸び悩み減少しましたが、セラミック原料が好調であったため、売上げは増加しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、75億89百万円（前年同期比4.6%減少）、営業利益は3億84百万円（前年同期比18.1%増加）となりました。

#### (エンジニアリング)

主力の乾燥炉及び焼成炉は、電子部品向け及びリチウムイオン電池向けが増加して、売上げは大きく伸長しました。濾過装置はベアリング向けが減少したものの、混合攪拌装置が堅調で、売上げは増加しました。超硬丸鋸切断機は、東アジアや東南アジアにおいて顧客の設備投資が抑制された影響により、売上げは減少しました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は、25億73百万円（前年同期比24.1%増加）、営業利益は17百万円となりました。

#### (食器)

国内市場では、百貨店向けが消費税増税の影響を受け不振であった前年から回復し、ホテル・レストラン向けも堅調であったことから、売上げは増加しました。海外市場では、米国市場が微増に留まり、欧州市場はロシア向けが低迷、アジア市場もエアライン向けの落ち込みにより減少したものの、円安の影響により、売上げはほぼ前年並みとなりました。その結果、食器事業の売上高は、23億65百万円（前年同期比6.0%増加）、1億20百万円の営業損失となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したものの、保有株式の株価上昇に伴い投資有価証券の時価総額が増加したことから、前連結会計年度末に比べ26億90百万円増加し、1,485億27百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金並びに流動負債の引当金が減少したものの、電子記録債務の増加に加え、その他有価証券評価差額金の増加により固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が増加したことから、前連結会計年度末に比べ5億24百万円増加し、635億44百万円となりました。

純資産は、非支配株主持分が減少したものの、その他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末に比べ21億66百万円増加し、849億83百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は平成27年5月12日発表の見直しを変更しておりません。業績予想に修正が必要となった場合には速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金が49百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,530	10,126
受取手形及び売掛金	27,938	28,148
電子記録債権	1,352	1,637
商品及び製品	8,644	8,654
仕掛品	3,829	4,106
原材料及び貯蔵品	4,582	4,553
その他	2,498	2,508
貸倒引当金	△21	△23
流動資産合計	61,354	59,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,252	18,109
その他(純額)	27,258	27,483
有形固定資産合計	45,511	45,593
無形固定資産		
	1,281	1,262
投資その他の資産		
投資有価証券	34,227	38,494
退職給付に係る資産	2,481	2,371
その他	1,102	1,218
貸倒引当金	△121	△123
投資その他の資産合計	37,690	41,960
固定資産合計	84,482	88,816
資産合計	145,836	148,527
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,108	11,606
電子記録債務	387	2,173
短期借入金	3,400	4,165
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	1,660	1,614
未払法人税等	695	274
引当金	1,422	397
設備関係支払手形	826	1,373
営業外電子記録債務	—	100
その他	5,485	4,779
流動負債合計	36,985	36,484
固定負債		
長期借入金	15,277	15,187
引当金	832	240
退職給付に係る負債	2,083	2,054
その他	7,841	9,577
固定負債合計	26,034	27,059
負債合計	63,019	63,544

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,832	18,783
利益剰余金	35,735	36,135
自己株式	△3,985	△3,987
株主資本合計	66,215	66,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,516	16,369
為替換算調整勘定	△759	△956
退職給付に係る調整累計額	△47	△13
その他の包括利益累計額合計	12,709	15,400
非支配株主持分	3,892	3,019
純資産合計	82,817	84,983
負債純資産合計	145,836	148,527

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
売上高	21,585	26,758
売上原価	15,824	19,670
売上総利益	5,760	7,088
販売費及び一般管理費		
販売費	4,023	4,378
一般管理費	1,572	2,097
販売費及び一般管理費合計	5,595	6,475
営業利益	164	612
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	243	278
受取賃貸料	97	80
為替差益	—	33
持分法による投資利益	83	60
その他	31	38
営業外収益合計	467	503
営業外費用		
支払利息	35	44
為替差損	27	—
固定資産賃貸費用	25	33
その他	11	13
営業外費用合計	100	91
経常利益	531	1,024
特別利益		
固定資産売却益	0	15
特別利益合計	0	15
特別損失		
固定資産処分損	19	11
その他	4	0
特別損失合計	23	11
税金等調整前四半期純利益	507	1,028
法人税、住民税及び事業税	143	247
法人税等調整額	128	△125
法人税等合計	271	121
四半期純利益	236	906
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	248	830



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	236	906
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	983	2,855
為替換算調整勘定	275	△187
退職給付に係る調整額	81	35
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	2
その他の包括利益合計	1,336	2,706
四半期包括利益	1,573	3,613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,437	3,521
非支配株主に係る四半期包括利益	135	92

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,323	7,956	2,074	2,231	21,585
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	83	325	△164	△79	164

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	14,230	7,589	2,573	2,365	26,758
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	331	384	17	△120	612

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。